

令和元年7月19日

## 1 学期終業式の話

いよいよ夏休みが始まります。約40日の夏休みですが、来年の3月に向けてみんなに是非頑張ってもらいたいことを2つ話したいと思います。

1つめは、朝礼でも話した、地域や家族の手伝いなどのボランティアや地域貢献に積極的に取り組んでほしいと思います。

2つめは、「目標に向かって努力すること」です。

先日の朝礼で、水橋先生から慣れることについて話があったと思いますが、同じ意味で「目標に向かって努力すること」について今日は、ルークテリーという右手のない高校2年の野球選手の話をしていきます。彼は、1歳の時に感染症を患い、右手を切断します。小学校に入り野球を始めた彼は、自らキャッチャーを志願し頑張ります。小学校では、盗塁がないため、とることに専念することでキャッチャーとして活躍できたようです。中学に入り、「できないなんて事なんてない！」と決心し、中学校でもキャッチャーとして素晴らしい活躍をし2018年には高校のオールスターメンバーに選出され、州大会の決勝トーナメントに出場します。さらに、その映像を見ていたメジャーリーグの選手によってメジャーリーグの始球式のキャッチャーとして出場することになります。

彼は、10歳の時、中学校でもキャッチャーを続けるため、左手でボールをキャッチし、左手でセカンドにボールを投げる方法を考え、努力を重ね4年をかけて完成させたそうです。彼は今、メジャーリーグの夢を持って頑張っているそうです。

それはみんなにとって、志望校合格のための努力であるかもしれませんが、または、部活動で県大会を目指した練習かもしれません。1学期残念に終わった教科の勉強かもしれません。何か、1つ夏休み中頑張るものを見つけてほしいと思います。努力を続けることで、みんなの未来は開けてきます。頑張りましょう。

「ボート生きてる」夏休みではなく、何か一生懸命になれる夏休みにしてください。